

友達や親戚が遊びに来たとき、みなさんが「連れて行ってあげたい」と思う場所はどこでしょうか？ ジオサイトとは、訪れ、見て、楽しみ、学べる「地球の見どころ」。洞爺湖有珠山ジオパークには火山に限らず、自然、歴史、文化など多様な価値のあるジオサイトがいくつもあります。

今回ご紹介するジオサイトもそのひとつ。豊浦町では大正時代から魚つき林（うおつきりん：土砂流出を防ぎ海を豊かにする森のこと）の整備など、海の恵みを将来にわたって得られるよう、継続して海洋資源の維持管理を行ってきました。鮭の遡上が見られるインディアン水車公園は、大地の恵みを生かした産業に関する場所として、ジオサイトに登録されています。10月には鮭が遡上する最盛期、ぜひ足をお運びください。

ジオサイト紹介

インディアン水車公園（豊浦町字高岡）

貫気別（ぬっきべつ）川を遡上してきた鮭を捕獲する施設。

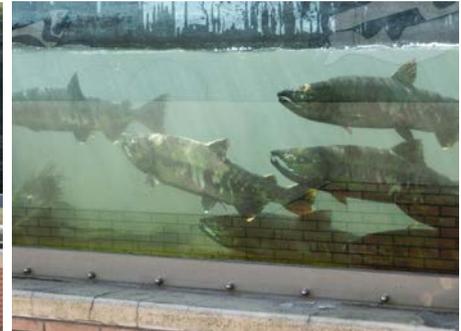
川から鮭を水車に誘導する水路がガラス張りになっているので、9月から10月にかけての遡上時期には、鮭の遡上の様子をみることができます。70 cmほどもある大きな鮭がジャンプをくりかえす姿は迫力満点！ここで捕獲した鮭はふ化場に運び、採卵します。ふ化した稚魚は毎年放流され、海洋資源の保護につながっています。



貫気別川のウライ



ガラス越しに鮭を観察



大きな鮭が間近で！

～インディアン水車公園までの行き方～

国道37号を虻田から豊浦町に向かって走り、道道702号を右折。約1km直進すると右側に無料駐車場有。見学も無料。

わかるとおもしろい「地名の由来」

「北海道の地名は読めない」と、言われたことはありませんか？

みなさんご存じのとおり、北海道の多くの地名が、アイヌ語に由来したもの。そこに漢字を当てはめて表記したため、本州の地名にはないような読み方がたくさんあります。

土地の形や採れるものなどから名づけられた地名が多いので、地名の由来がわかると、その町の特徴や歴史を知るきっかけになります。

わかるとおもしろい「地名の由来」をいくつかご紹介します！

長流川（おさるがわ）	→	オ・サル・ペツ（河尻に・葦原がある・川）
有珠（うす）	→	ウス、ウシ（入江、湾）
壮瞥（そうべつ）	→	ソーペツ（滝・川）
蟠溪（ばんけい）	→	パンケ・ユー（下流側の・温泉）
洞爺（とうやこ）	→	トー・ヤ（湖の・岸）



留寿都村の貫気別山から豊浦に流れる貫気別川。語源は「ヌッキ・ペツ（濁水の・川）。鮭が遡上し、オジロワシなどの姿も見える豊かな川です。